

青空のもと

少年野球大会開催

8月8日と9日、町民球技場と中学校グラウンドの2会場で、ファイターズチャンピオンシップU-12 檜山支部予選少年野球大会が開催されました。新型コロナウイルスの影響で中止になる大会もある中、指導者や審判、運営スタッフはマスクを着用し、感染症対策をしての大会開催となりました。

上ノ国石崎ヤンチャーズは今大会で優勝した強豪の北檜山ラウドネスに敗北しました。今後はこの悔しさを胸に練習を重ね、強豪に負けないチームになることを期待しています。



町内小学校児童へ

ヘルメット贈呈

7月28日、上ノ国町交通安全運動推進委員会から上ノ国小学校の児童へ自転車用ヘルメットが贈呈されました。贈呈式には、各学年の代表6名が参加し、児童それぞれが7色のカラーから選んだヘルメットを受け取りました。

6年生の波佐谷みちるさんは「改めて1人ひとりが安全運転の意識がもてる。ヘルメットを必ずつけない」と、話していました。同校のほか河北小学校と滝沢小学校の児童へも贈呈され、173個のヘルメットが配布されています。



木ノ子町内会独自で 商品券配布

8月12日、木ノ子町内会では、町内会員を対象に上ノ国町内で利用できる五千円分の商品券を配布しました。

この取組は、木ノ子町内会独自で発案されたもので、新型コロナウイルス感染症拡大により疲弊した消費を拡大させ、町内会員の応援をする目的があります。

永田勝町内会長は「今年は、町や町内会行事が中止、自粛となった。マスクなどの出費もあったことから、商品券を配布して町内会員の応援したい。」と、思いを語りました。



亡き人を思い

汐吹地区で灯籠流し

8月16日、汐吹漁港で灯籠流しが行われました。各家庭から持ち寄られた灯籠には戒名などが書かれており、約180丁が集まりました。訪れた住民や帰省客は、灯籠が海面に浮かべられると、幻想的な風景を眺めながら、先祖や亡き人への思いを馳せていました。

小間均町内会長は、「時化や雨の影響で日程や会場の変更を余儀なくされたが、今年も多くの灯籠を流せたことに感謝している。来年以降も灯籠の数を増やし地域の伝統を継続していきたい。」と話していました。

